

Special Report

2009年3月4日

フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

フィデリティ世界割安有望株ファンド スペシャル・レポート

平素より、フィデリティ世界割安有望株ファンドに格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。当ファンドは、2009年1月20日に設定を行い、順調に運用を続けております。投資家の皆様のご支援の賜物と深く感謝する次第です。今回は、ファンドの運用について皆様にご説明します。

世界的な不況に有望株のチカラを発揮し、打たれ強さを見せる

2009年の世界株式市場は米国の新オバマ政権への期待や相場水準の低さなど上昇要因もありながら、企業業績懸念の拡大や实体经济の悪化を嫌気し、引き続き軟調な展開となっています。

当ファンドは主たる投資対象ファンドであるフィデリティ・グローバル・スペシャル・シチュエーションズ・ファンド(英国籍投資法人)への投資を通じて、こうした難局も乗り切れると判断される世界中の有望株に投資いたしました。

フィデリティ・グローバル・スペシャル・シチュエーションズ・ファンド(英国籍投資法人)は、フィデリティ・インベストメント・サービシズ・リミテッド(英国)が運用する英国籍証券投資法人です。当ファンドは日本での販売は行っておりません。

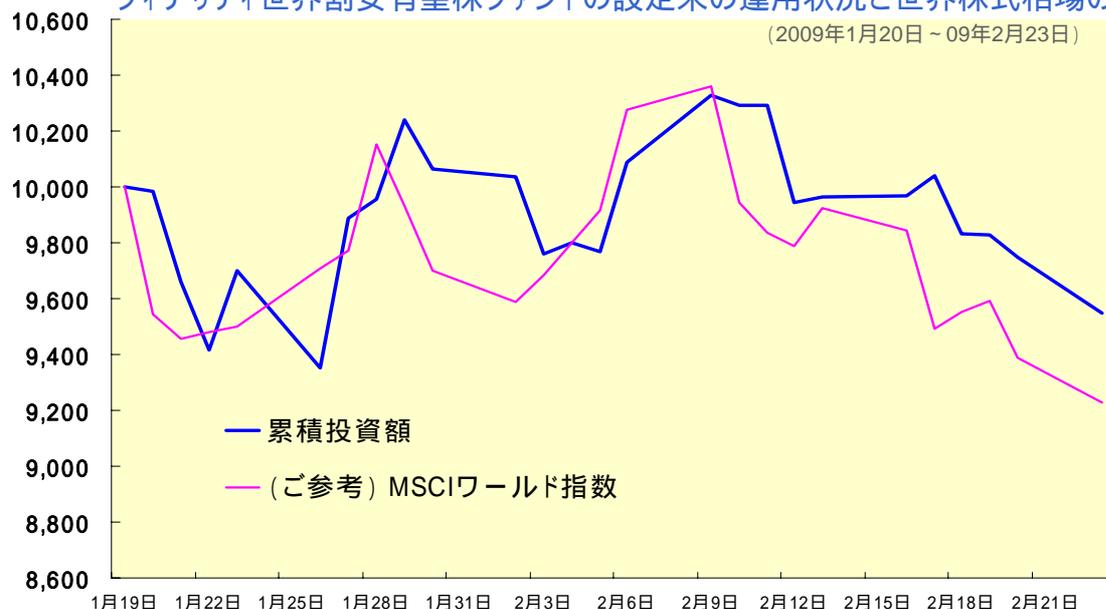


相対的に堅調な基準価額の推移

- ◆ 1月20日の設定来、ファンドの基準価額は1万円をやや下回る水準での推移となっており、2月23日現在9,550円となっています。なお、同期間の世界株式相場はMSCIワールド指数で1万円に直すと9,230円となっています。

フィデリティ世界割安有望株はベンチマークを設定していません。MSCIワールド(グロス 円ベース ファンド設定日前日を10,000円として計算したものを指数化)はあくまで世界株式相場の動きをご理解いただくためのご参考として掲載しています。

フィデリティ世界割安有望株ファンドの設定来の運用状況と世界株式相場の推移



注:フィデリティ投信作成 ファンド設定時(2009年1月20日)の前日を10000として指数化。ただし、ご購入手数料および収益分配金にかかる税金は考慮しておりません。

上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Special Report

2009年3月4日

フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

フィデリティ世界割安有望株ファンド スペシャル・レポート

フィデリティ・グローバル・スペシャル・シチュエーションズ・ファンド(英国籍投資法人)の運用状況

以下はフィデリティ世界割安有望株ファンドの主たる投資対象ファンドであるフィデリティ・グローバル・スペシャル・シチュエーションズ・ファンド(英国籍投資法人)(以下投資対象ファンドと呼びます。)の運用状況をご説明しています。投資対象ファンドは、フィデリティ・インベストメント・サービシズ・リミテッド(英国)が運用する英国籍証券投資法人です。当ファンドは日本での販売は行っておりません。

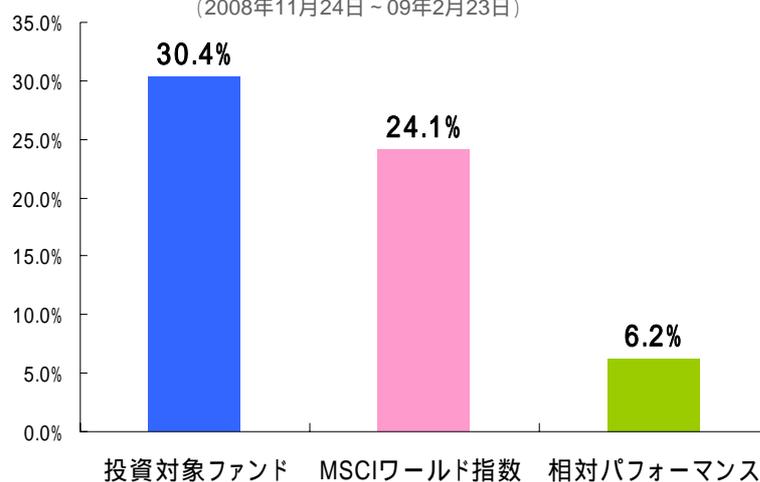


最近の運用状況 (過去3ヶ月)

- ◆ 最近3ヶ月、下値模索が続く世界株式に対して、投資対象ファンドは着実にプラスのリターンを積み上げ、世界有望株のチカラを発揮しています。

投資対象ファンドの基準価額とベンチマークの推移(円ベース)

(2008年11月24日～09年2月23日)



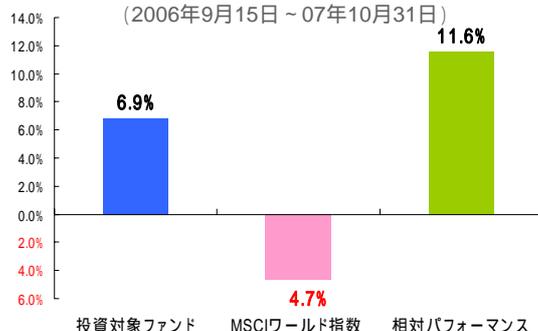
これまでの運用状況は？

- ◆ 2006年9月15日の設定来、投資対象ファンドは概ね上昇相場で強みを発揮してきました。

投資対象ファンドの基準価額とベンチマークの推移(円ベース)

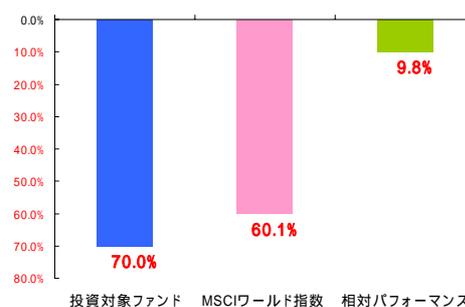
(上昇局面)

(2006年9月15日～07年10月31日)



(下落局面)

(2007年11月1日～08年11月23日)



注:フィデリティ投信作成。ベンチマークはMSCIワールド指数。MSCIワールド指数のドルベースの高値(2007年10月31日)で上昇局面と下落局面を分割。投資対象ファンドは分配金を再投資した実績評価額。手数料込み。ただし、ご購入手数料および収益分配金にかかる税金は考慮しておりません。

上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

Special Report

2009年3月4日

フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

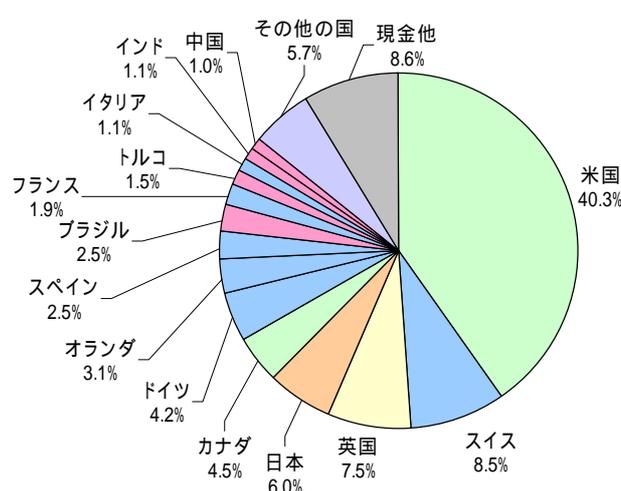
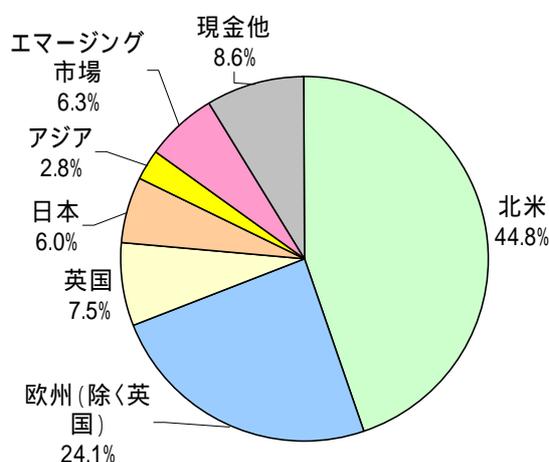
フィデリティ世界割安有望株ファンド スペシャル・レポート



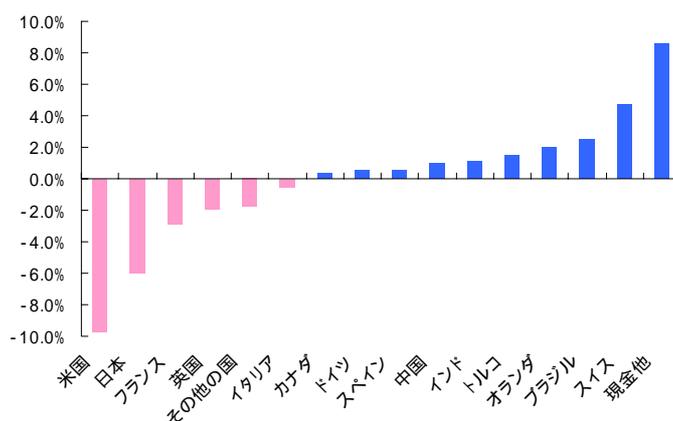
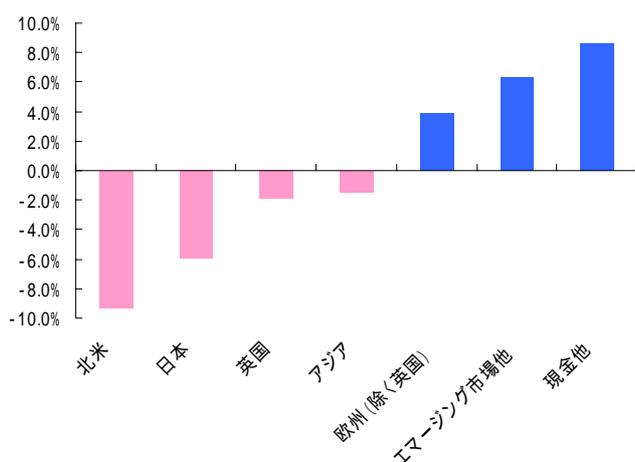
地域別・国別配分 新興国市場と欧州大陸をオーバーウエイト

- ◆ 投資対象ファンドは米国、スイス、英国から中国、インド、更に南アフリカまで幅広く投資しています。また新興国市場と英国以外の欧州を概ねベンチマークより多めに保有しています。反対に米国と日本を少なめに保有しています。これは中期的に世界で勝ち抜ける企業で、業績不安も少なく、現時点で割安と判断される企業を国を越えて選別した結果です。

投資対象ファンドの地域別・国別配分(2009年1月末)



ベンチマークとの比較(2009年1月末)



その他の国には、ベネルクス諸国、北欧、東欧、東アジア、中東、アフリカなどの国が含まれます。

注: フィデリティ投信作成 ベンチマークはMSCIワールド指数 投資対象ファンドの先物、デリバティブ取引のエクスポージャーは考慮していません。上記は運用分析ベースの数字であり、投信経理上の数値と異なる場合があります。

Special Report

2009年3月4日

フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

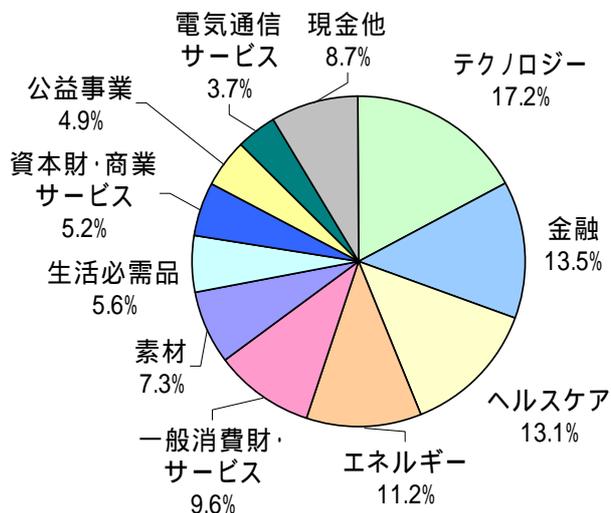
フィデリティ世界割安有望株ファンド スペシャル・レポート



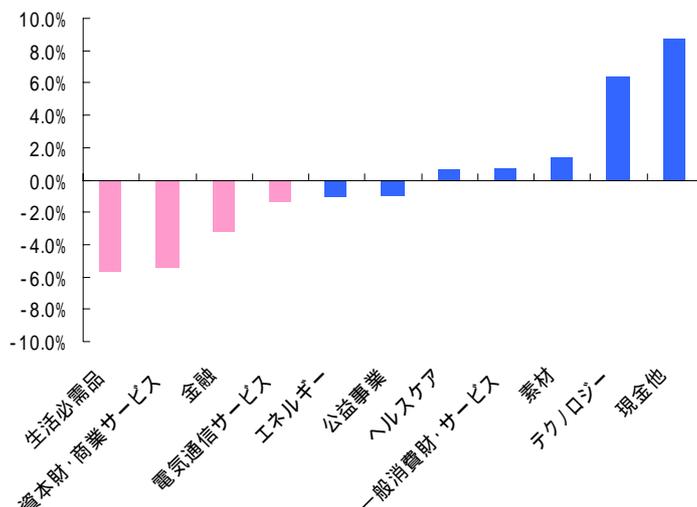
業種配分 テクノロジーと素材などをオーバーウエイト

- ◆ 投資対象ファンドは特定の業種にこだわることなく、幅広い業種から銘柄を選択しています。またテクノロジーと素材をベンチマークより多めに保有し、生活必需品と資本財・商業サービスを少なめに保有しています。これはテクノロジーには通信システムメーカーなど景気後退の影響を乗り越えて新興国などで成長できる企業や、グローバルに展開している割安と判断される資源企業を選別した結果です。

投資対象ファンドの業種配分(2009年1月末)



ベンチマークとの比較(2009年1月末)



注: フィデリティ投信作成 ベンチマークはMSCIワールド指数 投資対象ファンドの先物、デリバティブ取引のエクスポージャーは考慮していません。上記は運用分析ベースの数字であり、投信経理上の数値と異なる場合があります。



通信機器・ヘルスケア・資源株を上位で保有 キーワードはグローバル展開

投資対象ファンドの保有上位10社(2009年1月末)

(単位%)

銘柄名	業種	国	ファンドの保有比率	ベンチマークの構成比率	相対ウエイト
ロッシュ・ホールディングス	ヘルスケア	スイス	3.8	0.6	3.1
ジュニパー・ネットワークス	テクノロジー	米国	3.4	0.1	3.4
ユナイテッド・ヘルス・グループ	ヘルスケア	米国	3.2	0.2	3.0
バリック・ゴールド	素材	カナダ	2.6	0.2	2.4
テレフォニカ	電気通信サービス	スペイン	2.1	0.5	1.6
フレセニウス	ヘルスケア	ドイツ	2.0	0.0	2.0
アプライド・マテリアルズ	テクノロジー	米国	2.0	0.1	1.9
ASMLホールディングス	テクノロジー	オランダ	2.0	0.0	1.9
ハリス	テクノロジー	米国	2.0	0.0	1.9
ニューモント・マイニング	素材	米国	1.9	0.1	1.8

注: フィデリティ投信作成 ベンチマークはMSCIワールド指数

上記の銘柄を今後も保有することを保証もしくは示唆するものではありません。また銘柄の推奨を行なうものではありません。

Special Report

2009年3月4日



フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

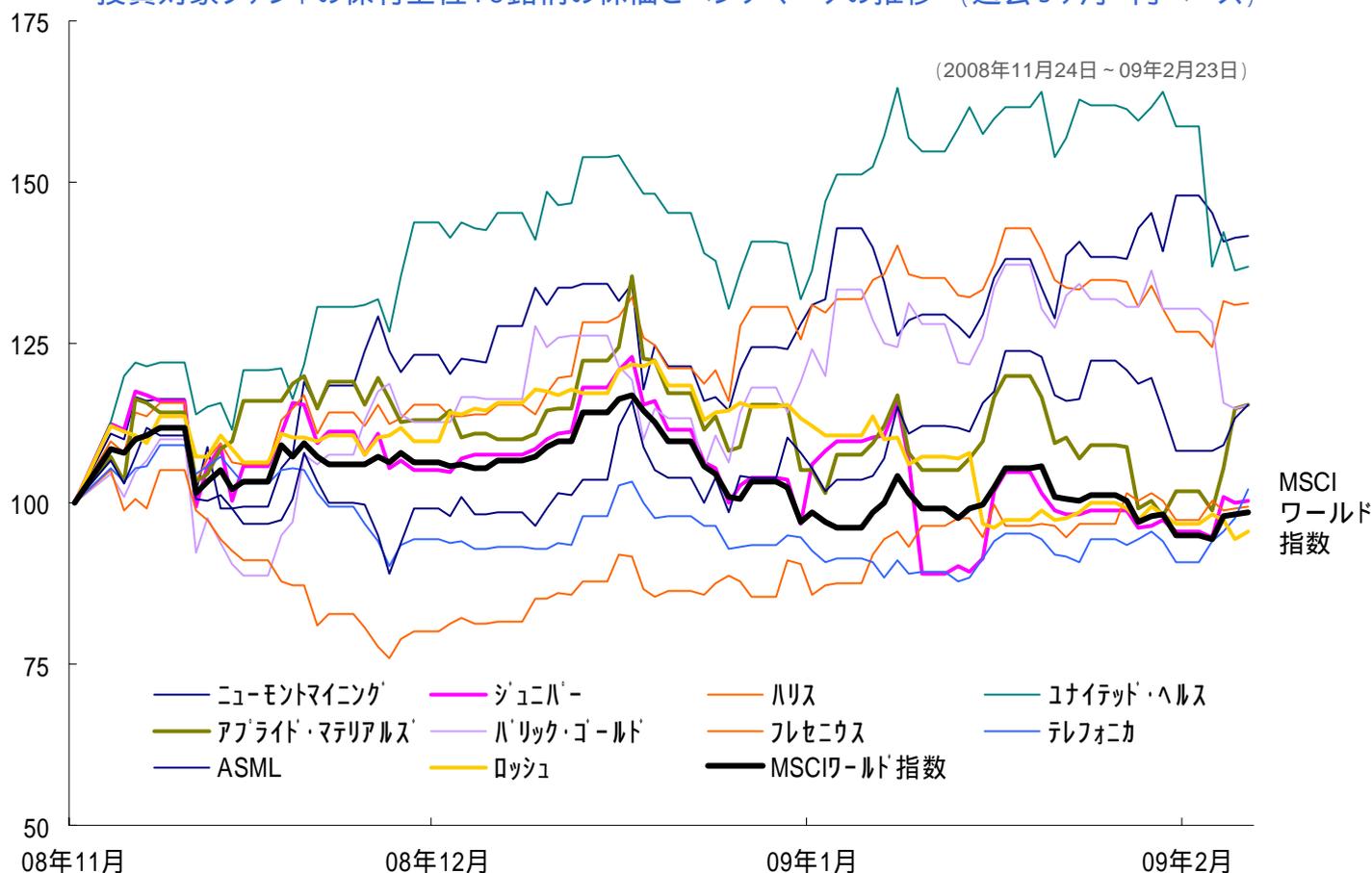
フィデリティ世界割安有望株ファンド スペシャル・レポート



なぜパフォーマンスが好調なのか？ 保有上位に見る有望株

- ◆ 投資対象ファンドの保有上位10銘柄の過去3ヶ月の推移は、概ねベンチマークであるMSCIワールド指数を上回っています。なかにはこの3ヶ月で株価が40%増となった銘柄もあり、不況下でも、有望株がしっかり上昇していることがわかります。
- ◆ 新興国の通信インフラ需要の恩恵を受ける企業、グローバルで需要が拡大する医薬サービス企業、世界中で貴金属鉱山を保有する企業など、長期的に企業戦略が明快で、グローバルな成長力があり、かつ財務安定性にも優れる企業が割安と判断される水準で買えるこれこそ「世界割安有望株」投資の魅力です。

投資対象ファンドの保有上位10銘柄の株価とベンチマークの推移（過去3ヶ月 円ベース）



注：Bloombergよりフィデリティ投信作成 2008年11月24日の前日を100として指数化

上記の銘柄を今後も保有することを保証もしくは示唆するものではありません。また銘柄の推奨を行なうものではありません。

Special Report

2009年3月4日



フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

ファンドの主なリスク

投資信託はリスク商品であり、投資成果は保証されておらず、投資元本を下回ることがあります。また収益や投資利回り等も未確定の商品です。ファンドは主として国内外の株式および公社債を実質的な投資対象としています。ファンドの基準価額は、組入れた有価証券の値動き、発行会社の経営・財務状況の変化、倒産、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為によりファンドに生じた損益は全て受益者に帰属し、元本が保証されているものではありません。下記はファンドのリスクの一部をご説明したものです。

価格変動リスク

基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。

為替変動リスク

外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

エマージング市場に関わるリスク

エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

空売り等に関わるリスク

ファンドが主として投資を行なう投資対象ファンドにおいて、個別銘柄ないし特定の市場指数を売建てる取引を行なう場合があります。売建てる取引を行なった場合、対象となった個別銘柄や市場指数が値上がりした場合、ファンドの基準価額が下落する要因になります。

派生商品による買建てに関わるリスク

ファンドが主として投資を行なう投資対象ファンドにおいて、先物などの派生商品を活用して個別銘柄ないし特定の市場指数を買建てる場合があります。先物などの派生商品取引ではファンドの純資産総額を超過した建玉をもつことがあり、その場合、市場価格の変動以上にファンドの基準価額が下落する可能性があります。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

Special Report

2009年3月4日



フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

フィデリティ世界割安有望株ファンド

追加型株式投資信託／ファンド・オブ・ファンズ(注) (注) 2008年1月1日以降、当ファンドは投資信託協会が定める商品の分類方法において、「追加型投資信託(内債/株式)」となる予定です。詳しくは投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

お客様にご負担いただく費用

(当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

●直接ご負担いただく費用

お申込み手数料 申込金額に下記の手数料率を乗じて得た額とします。(申込金額:(申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口)×申込口数)

お買付時の申込金額	手数料率(税込)
5,000万円未満	3.15%
5,000万円以上5億円未満	1.575%
5億円以上10億円未満	1.05%
10億円以上	0.525%

※ただし、償還換金等の場合には、償還金等の額の範囲内で取得する口数について上記手数料を無料とさせていただきます。

換金(解約)手数料 なし
信託財産留保額 なし

●保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬等 純資産総額に対し年率0.8295%(税抜き0.79%)。
※このほか、ファンドが投資する投資信託証券の運用報酬等が別途課されるため、実質的な信託報酬等は、年率1.75%±0.05%(税抜き)程度となる予定です。(投資する投資信託証券の変更等により実質的な信託報酬等は変動することがあります。)

その他の費用 有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託事務の処理に要する諸費用、受益権管理事務費用、法定書類関係費用(作成・印刷・交付等)、監査報酬等は投資信託財産から差し引かれます。
※その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に合計額や上限額等を示すことができません。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

お申込みメモ

当初申込期間 2008年12月24日から2009年1月19日まで
継続申込期間 2009年1月20日以降
当初設定日 2009年1月20日
お買付単位 10万円以上1円単位*または10万口以上1口単位
*お申込み手数料およびお申込み手数料にかかる消費税等相当額を含めて10万円以上1円単位でお買付けいただけます。

お買付額(1万口あたり) お買付け・ご換金 申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間は1万口当たり1万円)
継続申込期間におけるお買付け・ご換金のお申込みの受付は、午後3時(年末年始など半休日においては、午前11時)までとさせていただきます。この時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱となります。
※英国の休日と同じ日付の日には、販売会社の営業日であってもお買付け・ご換金のお申込みの受付は行いません。2009年1月20日から2019年12月26日まで

信託期間 ※ファンドの残存口数が30億円を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。
収益分配方法 毎年6月28日および12月26日(ただし休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。
なお、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。
◎分配金再投資コースをご利用の場合………税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。
◎分配金支払いコースをご利用の場合………税金を差し引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いたします。

ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金代金は、換金請求受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社にてお支払いいたします。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号
【加入協会】社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会
投資信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社
投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
販売会社 大和証券株式会社
ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金のお支払いなどを行ないます。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された募集投資家向けの投資信託商品販売用資料です。
- 投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなされますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- 「フィデリティ世界割安有望株ファンド」が投資を行なう投資対象ファンドは、主として国内外の株式および債券を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式、債券およびその他の有価証券の価格で、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた株式、債券およびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化および

- それらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価格はご購入時の価格を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身の責任となります。
- ご購入の際は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目録見書)をあらかじめまたは売却時にお読みいただきますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目録見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fund/japan.html>)をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを構築して「フィデリティ」ということがあります。

Special Report

2009年3月4日



フィデリティ投信株式会社

スペシャル・レポート

フィデリティ世界割安有望株ファンド

ご注意点

- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、当ファンドへの組入れを示唆するものではありません。
- FIL Limited およびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。FIL Limitedは、フィデリティの北米地域外における事業を統括する持株会社、FMR LLCは、フィデリティの北米地域における事業を統括する持株会社です。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。
- 投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- 投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。
- 投資信託説明書(目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>)をご参照ください。
- 当資料は、フィデリティ投信株式会社により作成された販売用資料です。当ファンドの取得をご希望の場合には「投資信託説明書(交付目論見書)」を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

KI090227-1

目論見書のご請求・お申し込みは・・・

大和証券
Daiwa Securities

<販売会社>

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会
社団法人 金融先物取引行協会